



人と人をつなぐ、
あなたの
ベストパートナーで
ありたい。

株主通信

2014年3月期第2四半期
2013年4月1日～2013年9月30日

IK 稲畑産業株式会社

株主の皆様へ

【経営理念】

Mission

「愛」「敬」の精神に基づき、
人を尊重し、
社会の発展に貢献する



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループの2013年4月1日から同9月30日における事業の概況をご報告させていただきます。

当第2四半期連結累計期間の概況について

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、弱い回復が続きました。米国では、底堅い個人消費などを背景に緩やかな景気回復傾向にありましたが、新興国では中国における景気拡大テンポの鈍化やインドでの景気減速の動きがみられました。欧州は総じて弱い動きでしたが、ドイツでは持ち直しもみられました。

一方、日本経済は、堅調な株価に支えられ、雇用情勢の改善、個人消費の持ち直し、円安による輸出環境の改善、また設備投資の下げ止まりにより、緩やかに景気回復が進みました。

こうした中、当社グループの連結ベースでの売上高は、275,829百万円(対前年同期比17.2%増)となりました。利益面では、営業利益5,678百万円(同53.4%増)、経常利益6,534百万円(同48.9%増)、四半期純利益4,534百万円(同43.4%増)となりました。

配当について

当期の中間配当金につきましては、当初の予想のとおり、1株当たり11円とさせていただきます。期末配当につきましては、1株当たり19円(中間配当とあわせて年間30円)を予定しております。

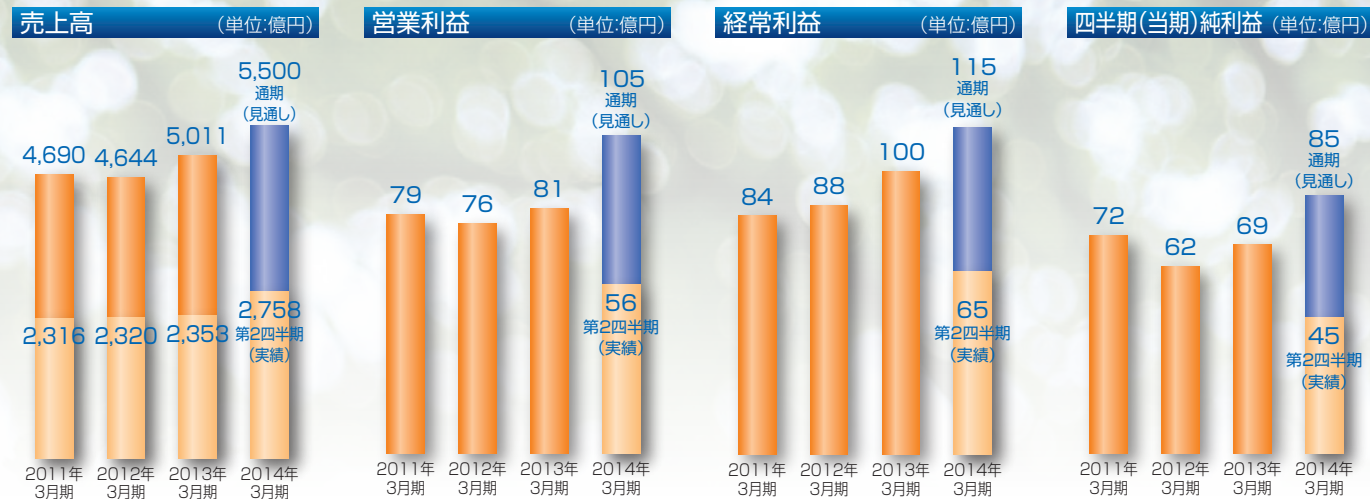
2014年3月期は、一昨年に策定いたしました中期経営計画「IK2013」の最終年度となります。当社グループ一丸となって目標達成に邁進する所存です。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。

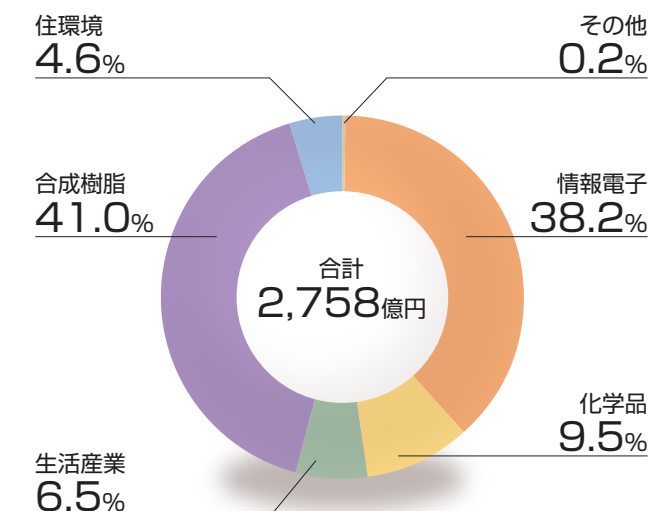
2013年11月

代表取締役社長 稲畑勝彦

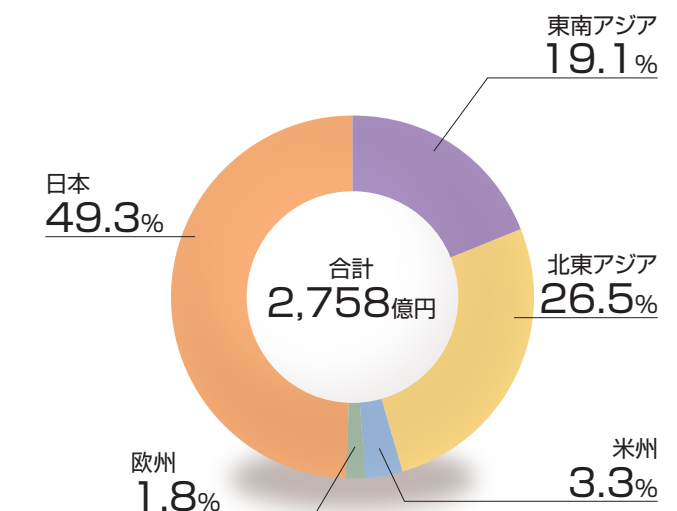
通期
第2四半期累計



事業区分別売上高構成比 (2013年4月1日~9月30日)



所在地別売上高構成比 (2013年4月1日~9月30日)





樹脂コンパウンドビジネス

ワンストップでお客様にさまざまなサービスを

プラスチックは、身の回りのいろいろなところで使われています。中でも、普段よく目にする、自動車・自動二輪車のランプカバーや部品、プリンターなどのOA機器や家電製品の内外装に使われるプラスチック製品は、当社の樹脂コンパウンドビジネスの得意分野です。

樹脂コンパウンドビジネスは、当社の合成樹脂事業の海外展開において、欠くことのできないビジネスモデルであり、アジアを中心としてお客様に特徴ある機能をご提供しています。



取締役常務執行役員
西村 修

▶ 樹脂コンパウンドとは？

未加工のプラスチック樹脂は、そのままでは透明または白っぽい無色です。これに着色剤を添加して多彩な色づけをおこなうのが着色加工です。さらに用途に応じて、難燃剤を添加して難燃性を高めたり、ガラス繊維などの補強材を加えて強度をアップしたり、改質を目的として異種の樹脂を混合したりします。

このように新たな特性を付与するためにプラスチック樹脂を加工したものが、樹脂コンパウンドです。

当社では、アクリロニトリル・ブタジエン・スチレン（ABS）、ポリスチレン、ポリプロピレンやナイロンなど、お客様のご要望に応じてさまざまな種類の樹脂をベースにして、樹脂コンパウンドの生産をおこなっています。

▶ 当社の樹脂コンパウンドビジネスのはじまり

当社は、1976年シンガポールに戦後初の海外拠点であるInabata Singaporeを設立しました。当時は、日本企業のシンガポールおよび周辺諸国への進出が盛んで、当社は、これらの企業に日本国内と同じレベルのきめ細かなサービスをご提供する、というコンセプトを掲げ、東南アジアにおける合成樹脂事業を展開していきました。

当時、東南アジアへ進出した日系企業は、自社の製品に使用するプラスチック樹脂は、製品の仕様に合わせて日本で着色加

工されたものを現地へ運んでいましたが、納期遅延、長距離の輸送に伴う品質トラブル、変動する需要への小回りがきかない、など数々の問題が頻発し、樹脂の着色加工の現地化ニーズが高まっていました。

そうしたニーズを背景に、当社は日本市場での品質管理と商社ならではの調達・物流管理のノウハウを組み合わせ、東南アジアでの樹脂コンパウンド事業をスタートさせました。

当社の樹脂コンパウンドの第一号の拠点は、1978年にシンガポールに設立したSanyo-IK Colorでした。その後、アジアにおけるマーケットの拡大に伴い、タイや中国など各国に加工拠点を設けました。2013年11月には、メキシコにて新たな樹脂コンパウンド工場が稼働し、アジアとあわせて6カ国7拠点における生産能力は、年間約19.5万トンにのぼります。

▶ 当社ならではの「ワンストップサービス」機能

お客様の製品設計段階における樹脂素材の選定から、原材料の調達、コンパウンド加工、物流管理にいたるまで、当社ですべてお応えできる「ワンストップサービス」と、日本を含めた海外の各拠点の密接な連携プレーが当社の強みです。

今後も、ますますグローバル化する市場において、当社はおお客様のプラスチックに関するあらゆるニーズにお応えしてまいります。

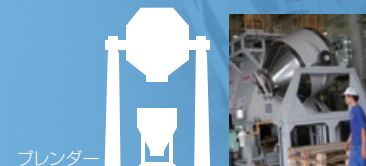
樹脂コンパウンドができるまで



加工前の樹脂



着色剤や添加剤



ブレンダー

① 樹脂と着色剤や難燃剤等の添加剤をブレンダーに投入して混ぜ合わせる



押し出し機

ウォーターバス(水槽)



② 混ぜ合わせた樹脂を溶融して、押し出し機から細い棒状に押し出す



カッター

③ カットしてペレット状に



できあがった樹脂コンパウンド

④ 完成した樹脂コンパウンドは、成形された後、家電・OA、車両等の完成品メーカーの工場へ



樹脂コンパウンドの年間生産能力 (単位:トン)



●中国	●ベトナム	●タイ	●マレーシア	●インドネシア	●メキシコ
60,000	25,200	38,400	24,000	37,200	10,200

Topics



完成予想図

IK Plastic Compound Mexico メキシコの樹脂コンパウンド新拠点

自動車産業の集積が進むメキシコにて、当社は昨年末に樹脂コンパウンド加工拠点「IK Plastic Compound Mexico」を設立、工場建設を進めてまいりましたが、本年11月より稼働を開始いたしました。

当社の第7の樹脂コンパウンド拠点となる同社では、主にエンジニアリングプラスチック系コンパウンドおよび汎用樹脂の着色コンパウンドなどを生産します。



連結財務諸表

Consolidated Financial Statements

四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	前期末 2013年3月31日現在	当第2四半期連結会計期間末 2013年9月30日現在	増減額
流動資産	197,303	209,627	12,324
固定資産	79,629	76,674	△2,954
資産合計	276,932	286,302	9,369
流動負債	150,410	157,586	7,175
固定負債	27,808	25,646	△2,162
負債合計	178,219	183,233	5,013
純資産合計	98,712	103,069	4,356
負債純資産合計	276,932	286,302	9,369

Point1: 流動資産の増加

受取手形及び売掛金が増加した等のため、12,324百万円増加しました。

Point2: 流動負債の増加

短期借入金が増加した等のため、7,175百万円増加しました。

四半期連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	前第2四半期連結累計期間 2012年4月1日～ 2012年9月30日	当第2四半期連結累計期間 2013年4月1日～ 2013年9月30日	増減額
売上高	235,369	275,829	40,460
売上総利益	16,328	18,847	2,518
販売費及び一般管理費	12,626	13,169	542
営業利益	3,702	5,678	1,975
営業外損益	685	856	171
経常利益	4,387	6,534	2,147
特別損益	△109	234	343
四半期純利益	3,162	4,534	1,372

Point3: 売上高の増加

主力の情報電子事業や合成樹脂事業を中心に伸長、円安の影響もあり、40,460百万円増加しました。

Point4: 経常利益の増加

営業利益の増加等のため、2,147百万円増加しました。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	前第2四半期連結累計期間 2012年4月1日～ 2012年9月30日	当第2四半期連結累計期間 2013年4月1日～ 2013年9月30日	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,327	△5,464	△18,791
投資活動によるキャッシュ・フロー	56	△3,179	△3,236
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11,688	3,195	14,884
現金及び現金同等物に係る換算差額	171	419	247
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,866	△5,028	△6,895
現金及び現金同等物の期首残高	10,756	18,985	8,229
新規連結または連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額	197	1,143	946
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,820	15,100	2,279

Point5: 営業活動によるキャッシュ・フローの減少

売上債権の増加、たな卸資産の増加、仕入債務の減少、その他流動負債の減少等のため、18,791百万円減少しました。

Point6: 財務活動によるキャッシュ・フローの増加

短期借入金の純増、長期借入れによる収入等により、14,884百万円増加しました。

詳しくは



会社情報 / 株式情報

Corporate Information / Stock Information

会社概要

(2013年9月30日現在)

- 会社名 稲畑産業株式会社
- 創業年月日 1890年10月1日
- 設立年月日 1918年6月10日
- 資本金 93億6千4百万円
- 従業員数 608名(グループ会社への出向者を含む)
[連結:3,676名]
- 大阪本社 大阪府中央区南船場一丁目15番14号
- 東京本社 東京都中央区日本橋本町二丁目8番2号
- 名古屋支店 名古屋市中村区名駅三丁目22番8号
- 営業所 松本営業所、九州営業所(霧島市)

役員

(2013年9月30日現在)

代表取締役社長	稲畑勝太郎	常勤監査役	佐藤精一
社長執行役員専務	中野佳信	監査役	越智豊
代表取締役専務	大槻延広	監査役	鈴木修一
取締役専務	西村修	監査役	松山康二
取締役専務	菅沼利之	執行役員	望月卓
取締役専務	赤尾豊弘	執行役員	杉山勝浩
取締役専務	横田健一	執行役員	藤園弘
取締役専務	佐藤友彦	執行役員	小田吉哉
取締役	福林憲二郎		
取締役	高萩光紀		
取締役相談役	稲畑勝雄		

(注)1. 取締役福林 憲二郎及び高萩 光紀は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。
2. 監査役鈴木 修一及び松山 康二は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

株式情報

(2013年9月30日現在)

[発行可能株式総数] 普通株式 200,000,000株
 [発行済株式の総数] 普通株式 65,159,227株
 [株主数] 4,441名
 [大株主の状況](上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
住友化学株式会社	13,836	21.8
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,090	4.9
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,846	4.5
JP MORGAN CHASE BANK 385093	2,218	3.5
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	1,736	2.7
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	1,268	2.0
稲畑勝雄	1,158	1.8
株式会社みずほ銀行	1,114	1.8
THE BANK OF NEW YORK - JASDECTREATY ACCOUNT	978	1.5
丸石化学製品株式会社	961	1.5

(注)当社保有の自己株式数(1,669,486株)につきましては、上記の表及び持株比率の計算より除いております。

<http://www.inabata.co.jp>

稲畑産業 投資家 検索

当社WEBサイト「投資家向け情報のページ」へ是非お越し下さい。

より詳しい財務データやIR情報を掲載しております。

お知らせ

当社は、12月13日・14日「野村IR個人投資家フェア2013」(場所:東京国際フォーラム、主催:野村インベスター・リレーションズ(株))に出展いたします。





株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日
その他必要がある時は、あらかじめ公告して定めます。
- 定時株主総会 毎年6月開催
- 公告の方法 電子公告 当社のホームページに掲載します。
<http://www.inabata.co.jp/koukoku>
ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
- 上場証券取引所 東京証券取引所 市場第1部
- 証券コード 8098
- 単元株式数 100株
- 会計監査人 大阪市中央区瓦町三丁目6番5号
銀泉備後町ビル 有限責任 あずさ監査法人
- 株主名簿管理人及び特別口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
- 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) ☎0120-782-031
(ホームページURL) <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

[株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について]

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。

[特別口座について]

株券電子化前にほふり(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といえます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。